

### 六課制に機構改革 役場の人事異動

4月1日付発令で、人事異動を行い、6課、1局、1室制に機構改革いたしました。

#### 庁是、公平 親切

課名	課長	係長	課員
総務課 (選挙管理委員会)	佐藤 巖	庶務(事務取扱)	星野 一栄
		財政	石崎 文二
		企画	本間 文男
住民福祉課	小池 丈夫	年金福祉	早川 徹
		戸籍住民	近藤 秀信
		国保衛生	福田 和雄
税務課 (固定資産評価審査会)	佐内 正一	資産税	小野 光弘
		住民税	柏木 金一
農政観光課 (農業委員会)	阿部 茂	農政	鷲沢 一秋
		観光商工	山田 豊昭
		振興	田中 信雄
建設課	小林 強	用地	本間 兵治
		技術	佐藤 忠義
企業課	樋浦 昭二	業務	後藤 哲
		工務	小林 武運一
会計室		会計	鈴木 喜久男
議会事務局	局長 星野 一栄		
園名	園長	主任保母	保母及び給食婦・用務員
中央保育園	高島 幸雄	陶山 奈々	住吉順子、大越たか子、後藤トミ子、高橋さえ子、佐藤昭子、石倉佐佑子、斎藤一子、星野和代、本多要子、上野節子(臨)、三富五郎、岡崎トシ、小林チヨ子、藤村良子(臨)
和納保育園	大岩 修作 (助役兼務)	藤原 利江	星井康子、大関貞子、阿部フミ子、若杉きくよ、関根ハツエ、横山みどり(臨)、金子アヤ子、大岩美和子
間瀬保育園	小池 丈夫 (住民福祉課長兼務)	五十嵐 千枝	池ハナ、岩井清子(臨)
教育委員会 教育長 木村 要 (公民館長兼務)	教育委員会 公民館	真島 彰夫 後藤 昇二	大久保直樹、斎藤勢津子、竹内弘(岩小)、藤田裕子、高村喜代子、藤田ミサホ、田原利英(臨)、(和小)青柳正彦、三島 幸、竹内マツイ(間小)阿部キヨ、阿部すみ子(岩中)北島スミ子、堀 悦、荒井ノリ子、本田ヨシ(朝妻一司(臨))

#### 消防署岩室分署

分署長	主任	署員
司令補 星野 庚造	消防士長 後藤 勉 消防士長 池田 強	消防士 石川 一秋、本田 時宗、水沢勇次郎、月岡 進、鈴木 勝均、荒川 清治、金子 雅男、佐藤 清五、小柳 静治、樋浦 田中 千尋

退職者 鷲井 東七郎(前農政課長) 51.3.20付 収入役に就任 51.3.21  
 越条 守二(前住民課長) 51.3.31付  
 前社会福祉課福祉係長) 51.3.31付



### 沖繩に「新潟県の慰霊塔」 を建てる運動募金ありがどう ございましたか。

沖繩は太平洋戦争最後のひろく県民からの募金による激戦地で、日米両国軍人の遺骨と県からの助成で建ち、住民約二十万人が山野を立する趣旨で進められ、こゝに建てられたのが、新潟県の慰霊塔です。岩室村からも、皆さんの玉砕の地沖繩に慰霊塔のご賛同とご協力により、島といわれ、全国各都道府県で、十八万九千七百五十六県の慰霊塔が建てられて、円多額の募金をいただきました。新潟県も建設資金をありがたうございました。

### 「新潟県の塔」を訪れ 岩室村の木「月桂樹」を植樹

高畑、鷲沢幸一さんら、携行、麻文仁の丘に建立された岩室村自衛隊父兄会の方が、「新潟県の塔」の付近沖繩を訪れる際に、「岩室」に植え、「記念樹、月桂樹」村の出身で沖繩に戦死した」と書いた杭を立て、りつ兵士の霊をこもりたい」と祈って、兵士の霊を見月桂樹」を寄贈してもらい、祈ってまいりました。

### 小・中学校 教職員異動

教職員の定期異動は、四月一日付で発令されました。本村小・中学校から、栄転される先生方、並びに勇退される先生方に感謝をこめてお送りするとともに、新しい期待をもって、お迎えする先生方をご紹介いたします。

◎お世話になりました。  
 ・転出(着任校)  
 ・岩室小学校から  
 教頭 中島 秀男  
 教諭 小野 隆一(曾野木中)  
 教諭 大矢 和夫(南浜中)  
 教諭 小林 輝一(吉田中)  
 教諭 渡辺五三子

・和納小学校から  
 教頭 伝川 一夫(西川中)  
 教諭 林 良夫(間瀬小)  
 校長 滝沢 久衛(無西小)  
 教諭 山田 芳子(分水小)  
 教諭 富山 洋子(無西小)  
 教諭 岡本 操子(東山下小)  
 校長 小宮 富郎(無西小)  
 校長(水原地区指導主事) 中村 幹夫(湯東南小)  
 教諭 宝力 サダ(退職) ◎よろしくお願ひします。  
 ・岩室中学校へ  
 教頭 佐藤 健輔  
 教諭 涌井 島雄(曾郷中)

・間瀬小学校から  
 校長 吉川善次郎  
 教諭 西村 正一(升湯中)  
 教諭 林 良夫(岩室小)

・岩室小学校へ  
 教頭 本間 敦子(漆山中)  
 教諭 小林 昭三(中ノ口東小)  
 教諭 坂上 登(大長谷小)  
 教諭 西山 シズ(漆山中)  
 校長 齋藤 一義(下越指導主事)  
 教諭 平沢 睦子(無西小)  
 教諭 川村 フミ(曾根小)  
 教諭 小林 弘(曾根小)  
 教諭 高橋チヅ子(無西小)  
 校長(吉川善次郎)  
 教諭 西村 正一(升湯中)  
 教諭 林 良夫(岩室小)

### 戸籍シリーズ ④

【問】昔の婚養子縁組とはどんな縁組なのか。またそれは現在の養子縁組とはどのような違いがあるのか。教えてください。

【答】昔の婚養子縁組は養子縁組と同時に婚姻の成立するものをいい、養子となる者は男子に限られておりました。すなわち、父または母が男子を養子とするのと同時に、自分の子(女子)と婚姻させるものであって、女子がその家を去

た。ところが、新憲法の施行とともに、家を継ぐた定めたため、家を継ぐた養子縁組という制度も否定され、養子縁組制度は「子の福祉のため」のものへと変化いたしました。このように、子の福祉を目的とするか、家の絶えるのを防ぐことを目的とするかが、現在の養子縁組と、婚養子縁組との最も大きな違いであるといえるでしょう。

【問】養子縁組の効力について説明してください。

【答】養子縁組とは、「養親と養子の間に嫡出親子関係を生ぜしめようとする身分行為である」といわれます。これを「法定血族関係」を生じさせる行為といふことであり、養子縁組の効力について一言でいうと前述したように「養子縁組の効力」といふこととなりますが、この効力は届書が受理された時点で発生するもので、効力は、縁組届が受理された日の午前零時に遡るもので、この解婚等と根本的に異なることとなります。

毎月10日は住民相談日です。気軽にお願いください。

善意ありがとうございました。

△和納八区の出崎徳一さんから静閑荘に見事な桜の木のご寄附がありました。しかもご自身で植樹していただいた。春ともなれば一ぱいに花を咲かせ、静閑荘を訪れる多くの人達を目まきり村にご寄附くださいました。ご協力に御礼申し上げます。

たばこは村内で買いました。